

# 全国一斉ブラックバス防除ウィークの概要と報告

全国ブラックバス防除市民ネットワーク 事務局長 小林光

淡水魚の中には、その地域地域から姿を消したものが数多くあります。全国的に見て絶滅のおそれのあるものもたくさん報告されています。どこにでもいたメダカすら絶滅危惧種というのだから驚きです。絶滅のおそれのある淡水魚の中には、日本の農業の仕方に適応して固有の生態を獲得した種類も多く、日本にしか生息しない種(日本固有種)も多く生息します。それらの生きものを失うことは、日本の文化を失うことにも通じます。それらを守ることは、日本人の責任の問題でもあります。

水辺の生きものの生息環境が大きく改変され、生息状況が悪化しているところに追い討ちをかけるように、近年では、外来種による影響で水辺の生きものはますます苦境に立たされています。特にオオクチバス、コクチバス、ブルーギル(「ブラックバス等」という)による影響は極めて大きく、全国各地で水中の生物多様性が著しく低下しています。生息環境の悪化は人間が生きて行くために必要な自然の改変という側面がありますが、ブラックバス等の拡散は、釣りという遊びをしたい一部の人のエゴによるものです。ブラックバス等を現状のまま放置することは、日本の自然と文化の喪失に繋がります。

幸い「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(外来生物法)」が2005年6月1日に施行されました。ブラックバス等は特定外来生物に指定され、輸入、飼育、栽培、保管、運搬、野外に放つこと、譲渡・販売などが禁止されました。しかしながら、現実的には、これらの外来魚は全国各地の河川湖沼に広がり、被害や影響を与え続けています。それどころか、未だに密放流が続いています。

そこで、私たち、それぞれの地域で希少魚類や在来生態系などを守りたい・取り戻したいという思いで活動している団体が参集し「全国ブラックバス防除市民ネットワーク」を2005年11月27日に設立しました。各地の市民団体が連携し、情報の交換・蓄積、保全技術の開発などを行なうことにより、ブラックバス等の外来魚を防除し、水生生物の生息環境を維持・回復するための連絡組織です。外来種対策は行政の役割が大きいです。市民の立場からも出来ることは実施しようという考えです。現時点で24団体が参加していますが、各地の市民団体の皆様に参加を呼びかけ、活動の輪を全国に広めていきたいと思っています。

2006年の活動としては、5月下旬を「全国一斉ブラックバス防除ウィーク」とし、防除活動(駆除、密放流防止パトロール、防除普及キャンペーンなど)を行いました。29の行事が開催され、93団体、2405人の参加が得られました。その活動は新聞、テレビにも紹介されたので、活動の認知度は高まったのではないかと思います。

今後は、全国各地の市民団体と共催して、防除技術に関する意見交換会・現地講習会開催、ブラックバス防除と河川湖沼保全に関するガイドブック作成及びリーダー養成講座開催、全国シンポジウム開催などを計画しています。

ブラックバス等の防除は簡単ではありません。調査や駆除や密放流防止に膨大な時間・労力・資金がかかるうえ、防除の必要性を地域の人たちに理解していただき、協力を得るためにもたいへんな労力を要します。効率的・効果的に、そして継続して防除をおこなう

ためには、各地で活動を続けている団体が互いに支えあい、さらに行政や漁協など、さまざまな立場の組織・団体と連携を保っていくことが必要と考えます。

私たちの目指していることは、ブラックバス等を駆除するだけでは達成できません。それぞれの地域に昔から生息していた水辺の生きもので賑わいのある環境を再生したいと思います。大事なのは、「それぞれの地域で最終的に守りたい・取り戻したい生態系の目標像」を明確に持ち、その中にブラックバス等の防除を位置づけながら、活動を継続していくことです。そうでなければ、駆除されるブラックバス等の「命(いのち)」に申し訳ありません。活動に参加してくれる人々・子どもたちに、私たちの思いを伝えながら、活動の輪を広げて行きたいと思えます。

私たちの夢は、水辺の生きものの保全に関わる日本中の人々や団体の連携・協力による水生生物の生息環境を守り回復することを目的にしたネットワークを構築することです。

#	2006全国一斉ブラックバス防除ウィーク	参加団体数	参加者数	TV取材	新聞取材
1	秋田淡水魚研究会	1	150		読売
2	阿武隈生物研究会	3	37		
3	岡山淡水魚研究会	2	40		
4	香川淡水魚研究会	1	20		朝日
5	(NPO)亀岡人と自然のネットワーク	#28に共催			
6	(NPO)自然を考える釣り人の会	1	20		
7	(NPO)シナイモツゴ郷の会	7	40	NHK, 東北放送、 宮城TV、仙台放送	朝日、河北新報、 読売
8	(有中)水生生物保全研究会	1	8		
9	生物多様性研究会	2	4	NHK, TV朝日	
10	生物多様性保全ネットワーク新潟	9	680	NHK, BSN, NT21	
11	ゼニタナゴ研究会	#13に共催			
12	田沢湖生物研究会	2	20		
13	土浦の自然を守る会	2	21	NHK, TV朝日 日本TV	常陽
14	琵琶湖外来魚研究グループ	1	200		
15	琵琶湖を戻す会	8	240		京都
16	ブラックバス問題新潟委員会	#10に共催			
17	深泥池水生生物研究会	1	46		
18	(財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	2	60		北海道、共同通信
19	淀川水系イタセンバラ研究会	1	60		
20	鶴住居川漁業協同組合	1	8		
21	環境省渓流釣りクラブ	2	9	TV朝日	
22	立教大学濁川研究室	1	22		
23	三大字地域資源保全会	3	20		福島民友
24	(NPO)栗駒山麓遊ゆうの会	1	25		
25	ひょうたん池を守る会	1	20		
26	東京勤労者つり団体協議会	25	92		
27	寺内ダムバス・ギル釣り大会実行委員会	1	100		
28	亀岡市地球環境子ども村	4	40		
29	入来・祁答院ライオンズクラブ	1	166		
30	立教大学ウェルネス研究所	5	150		朝日
31	広島県内水面漁業協同組合連合会	3	86		
32	ぐるーぷ・うえつと	1	21		
	<b>29イベント</b>	93	2405		